



Aironet System Tray Utility (ASTU) の使用方法

この章では、Aironet System Tray Utility (ASTU) を使用してクライアントアダプタに関するステータス情報にアクセスし、基本的な作業を実行する方法について説明します。

この章では、次の項目について説明します。

- [ASTU の概要 \(P. 8-1\)](#)
- [ASTU アイコン \(P. 8-2\)](#)
- [Tool Tip ウィンドウ \(P. 8-3\)](#)
- [ポップアップメニュー \(P. 8-6\)](#)

ASTU の概要

ASTU は、ADU で使用できる機能の一部をまとめたオプションアプリケーションです。具体的には、使用しているクライアントアダプタのステータス情報の確認、および基本的な作業の実行が可能です。ASTU には Windows システムトレイのアイコンからアクセスできるため、アクセスしやすく使いやすくなっています。ASTU アイコンは、クライアントアダプタがコンピュータにインストールされていて、そのインストールの際に ASTU を無効にしなかった場合にのみ表示されます。

ASTU は次の方法で情報とオプションを提供します。

- アイコン自体の表示
- カーソルをアイコンの上に置いたときに表示されるツールチップウィンドウ
- アイコンを右クリックしたときに表示されるポップアップメニュー
- アイコンをダブルクリックしたときに表示される Connection Status ウィンドウ

ASTU アイコン







ASTU アイコンの外観は、クライアント アダプタの接続ステータスを表しています。ASTU は、1 ～ 5 秒ごとにクライアント アダプタのステータスを読み込んでアイコンを更新します（更新間隔は、Display Settings ウィンドウの Refresh Interval に入力されている値により異なります）。表 8-1 に ASTU アイコンのそれぞれの外観の意味を示します。



(注)

Windows 2000 と XP では、システムトレイに独自の無線ネットワーク接続のステータスアイコンが表示されることがあります。Windows のアイコンをオフにして、ASTU アイコンから無線接続を監視することをお勧めします。

表 8-1 ASTU アイコンの意味

アイコン	説明
	白色のアイコンは、クライアントアダプタの無線が無効であることを示します。
	濃い灰色のアイコンは、クライアントアダプタがアクセスポイント（インフラストラクチャモードの場合）または他のクライアント（アドホックモードの場合）にアソシエートされていないことを示します。
	薄い灰色のアイコンは、クライアントアダプタがアクセスポイント（インフラストラクチャモードの場合）または他のクライアント（アドホックモードの場合）にアソシエートされているが、ユーザが EAP 認証されていないことを示します。
	緑色のアイコンは、クライアントアダプタがアクセスポイント（インフラストラクチャモードの場合）または他のクライアント（アドホックモードの場合）にアソシエートされ、ユーザが EAP 認証されており（クライアントアダプタが EAP 認証に設定されている場合）、信号強度が Excellent または Good であることを示します。
	黄色のアイコンは、クライアントアダプタがアクセスポイント（インフラストラクチャモードの場合）または他のクライアント（アドホックモードの場合）にアソシエートされ、ユーザが EAP 認証されており（クライアントアダプタが EAP 認証に設定されている場合）、信号強度が Fair であることを示します。
	赤色のアイコンは、クライアントアダプタがアクセスポイント（インフラストラクチャモードの場合）または他のクライアント（アドホックモードの場合）にアソシエートされ、ユーザが EAP 認証されており（クライアントアダプタが EAP 認証に設定されている場合）、信号強度が Poor であることを示します。

Tool Tip ウィンドウ

ASTU アイコンの上にカーソルを置くと、Tool Tip ウィンドウが表示されます (図 8-1 を参照)。



(注)

クライアントアダプタの無線が無効な場合は、Tool Tip ウィンドウの代わりに、無線ネットワークインターフェイスが無効であることを知らせるメッセージが表示されます。

図 8-1 Tool Tip ウィンドウ

Office	136214
Test AP 1	
Associated	
Excellent	
11.0 Mbps, 11b	
Cisco Aironet 802.11a/b/g Wireless Adapter #3	
169.254.42.170	

このウィンドウに、クライアントアダプタの現在のステータス情報が示されます。表 8-2 に、Tool Tip ウィンドウの各要素と説明を示します。

表 8-2 Tool Tip ウィンドウの要素




ステータス要素	説明
Active profile	クライアントアダプタが現在使用しているネットワーク構成 (またはプロファイル)  (注) 自動プロファイル選択を有効にしていると、クライアントがアクセスポイントにアソシエートされるまでアクティブなプロファイルは表示されません。
SSID	クライアントアダプタが現在アソシエートしているネットワークの名前  (注) クライアントアダプタがアソシエートされていない状態で自動プロファイル選択を無効にしていると、このフィールドにはプロファイルの SSID が表示されます。クライアントアダプタがアソシエートされていない状態で自動プロファイル選択を有効にしていると、このフィールドには何も表示されません。  (注) クライアントアダプタの SSID の設定手順については、表 5-2 の SSID1 パラメータを参照してください。

表 8-2 Tool Tip ウィンドウの要素 (続き)







ステータス要素	説明														
Connection status	<p>クライアントアダプタの動作モード</p> <p>値: Not Associated、Associated、Authenticating、Authenticated、Authentication Failed、または Authentication Failed Retrying</p>														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>接続のステータス</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Not Associated</td> <td>クライアントアダプタは、アクセスポイント (インフラストラクチャモードの場合) または他のクライアント (アドホックモードの場合) への接続を確立していません。</td> </tr> <tr> <td>Associated</td> <td>クライアントアダプタは、アクセスポイント (インフラストラクチャモードの場合) または他のクライアント (アドホックモードの場合) への接続を確立しています。</td> </tr> <tr> <td>Authenticating</td> <td>クライアントアダプタはアクセスポイントにアソシエートされ、EAP 認証プロセスが開始されましたが、まだ成功していません。</td> </tr> <tr> <td>Authenticated</td> <td>クライアントアダプタはアクセスポイントにアソシエートされ、ユーザが EAP 認証されています。</td> </tr> <tr> <td>Authentication Failed</td> <td> <p>クライアントアダプタはアクセスポイントにアソシエートされていますが、ユーザの EAP 認証に失敗しました。</p> <p> (注) このステータスは表示されてすぐに消えますが、認証の失敗により最終的にクライアントアダプタのアソシエーションが解除された場合は、まったく表示されません。この場合、ステータスは <i>Not Associated</i> と表示されます。</p> </td> </tr> <tr> <td>Authentication Failed Retrying</td> <td> <p>クライアントアダプタはアクセスポイントにアソシエートされ、ユーザの EAP 認証に失敗しましたが、認証を再試行しています。</p> <p> (注) このステータスは表示されてすぐに消えますが、認証の失敗により最終的にクライアントアダプタのアソシエーションが解除された場合は、まったく表示されません。この場合、ステータスは <i>Not Associated</i> と表示されます。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	接続のステータス	説明	Not Associated	クライアントアダプタは、アクセスポイント (インフラストラクチャモードの場合) または他のクライアント (アドホックモードの場合) への接続を確立していません。	Associated	クライアントアダプタは、アクセスポイント (インフラストラクチャモードの場合) または他のクライアント (アドホックモードの場合) への接続を確立しています。	Authenticating	クライアントアダプタはアクセスポイントにアソシエートされ、EAP 認証プロセスが開始されましたが、まだ成功していません。	Authenticated	クライアントアダプタはアクセスポイントにアソシエートされ、ユーザが EAP 認証されています。	Authentication Failed	<p>クライアントアダプタはアクセスポイントにアソシエートされていますが、ユーザの EAP 認証に失敗しました。</p> <p> (注) このステータスは表示されてすぐに消えますが、認証の失敗により最終的にクライアントアダプタのアソシエーションが解除された場合は、まったく表示されません。この場合、ステータスは <i>Not Associated</i> と表示されます。</p>	Authentication Failed Retrying	<p>クライアントアダプタはアクセスポイントにアソシエートされ、ユーザの EAP 認証に失敗しましたが、認証を再試行しています。</p> <p> (注) このステータスは表示されてすぐに消えますが、認証の失敗により最終的にクライアントアダプタのアソシエーションが解除された場合は、まったく表示されません。この場合、ステータスは <i>Not Associated</i> と表示されます。</p>
接続のステータス	説明														
Not Associated	クライアントアダプタは、アクセスポイント (インフラストラクチャモードの場合) または他のクライアント (アドホックモードの場合) への接続を確立していません。														
Associated	クライアントアダプタは、アクセスポイント (インフラストラクチャモードの場合) または他のクライアント (アドホックモードの場合) への接続を確立しています。														
Authenticating	クライアントアダプタはアクセスポイントにアソシエートされ、EAP 認証プロセスが開始されましたが、まだ成功していません。														
Authenticated	クライアントアダプタはアクセスポイントにアソシエートされ、ユーザが EAP 認証されています。														
Authentication Failed	<p>クライアントアダプタはアクセスポイントにアソシエートされていますが、ユーザの EAP 認証に失敗しました。</p> <p> (注) このステータスは表示されてすぐに消えますが、認証の失敗により最終的にクライアントアダプタのアソシエーションが解除された場合は、まったく表示されません。この場合、ステータスは <i>Not Associated</i> と表示されます。</p>														
Authentication Failed Retrying	<p>クライアントアダプタはアクセスポイントにアソシエートされ、ユーザの EAP 認証に失敗しましたが、認証を再試行しています。</p> <p> (注) このステータスは表示されてすぐに消えますが、認証の失敗により最終的にクライアントアダプタのアソシエーションが解除された場合は、まったく表示されません。この場合、ステータスは <i>Not Associated</i> と表示されます。</p>														

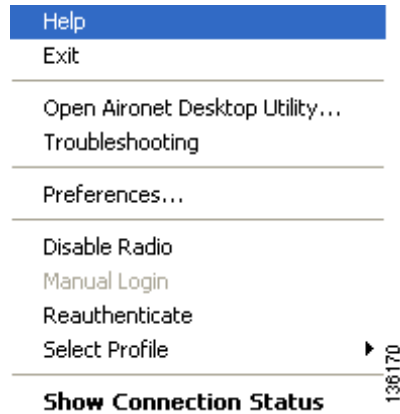
表 8-2 Tool Tip ウィンドウの要素 (続き)

ステータス要素	説明
Link quality	すべての受信パケットに対するクライアントアダプタの信号の強度 値: Excellent、Good、Fair、Poor、または No Link
Link speed and 802.11 mode	クライアントアダプタが現在データパケットの送信に使用している速度と、クライアントアダプタが現在通信に使用している 802.11 モード リンク速度の値: 1、2、5.5、6、9、11、12、18、24、36、48、 または 54Mbps 802.11 モードの値: 11a、11b、または 11g
Client adapter type	使用しているクライアントアダプタについての記述
Client adapter IP address	クライアントアダプタの IP アドレス

ポップアップメニュー

ASTU アイコンを右クリックすると、ASTU ポップアップメニューが表示されます(図 8-2 を参照)。

図 8-2 ASTU ポップアップメニュー



次の項で ASTU ポップアップメニューの各オプションを説明します。



(注) Aironet System Tray Utility Preferences ウィンドウを使用している場合、またはシステム管理者が管理ツールを使って特定の ASTU メニューのオプションを無効している場合は、これらのオプションはメニューに表示されないため、選択できません。

Help

このオプションを選択すると、オンラインヘルプが表示されます。

Exit

このオプションは ADU と ASTU を終了します。



(注) ADU を再度有効にするには、コンピュータのデスクトップの **Aironet Desktop Utility** アイコンをダブルクリックします。ASTU を再度有効にするには、ADU Action ドロップダウンメニューから **Enable Tray Icon** オプションを選択します。

Open Aironet Desktop Utility

このオプションは ADU を起動します。

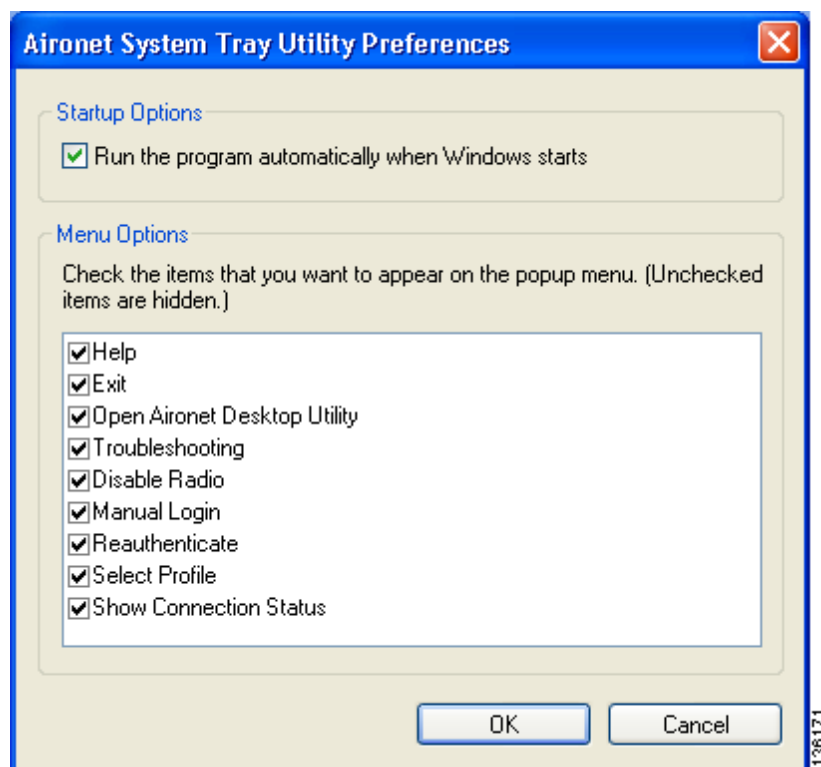
Troubleshooting

このオプションは、トラブルシューティングユーティリティを起動します。このユーティリティを使用すると、クライアントアダプタでの設定およびアソシエーションの問題を特定して、解決できます。このユーティリティの使い方の詳細は、「Cisco Aironet Troubleshooting Utility の使用」の項 (P. 10-3) を参照してください。

Preferences

このオプションを選択すると、Aironet System Tray Utility Preferences ウィンドウが表示されます (図 8-3 を参照)。

図 8-3 Aironet System Tray Utility Preferences ウィンドウ



このウィンドウを使用すると、ADU と ASTU の実行時間を指定し、ASTU ポップアップメニューに表示されるオプションを選択できます。選択する手順は次のとおりです。

- ステップ 1** Windows が起動すると ASTU が自動的に実行されるようにする場合は、**Run the program automatically when Windows starts** チェックボックスがオンになっていることを確認します。それ以外の場合、このチェックボックスをオフにします。



(注) このオプションを選択せずに後から ASTU を起動するには、ADU の Action ドロップダウンメニューから **Enable Tray Icon** オプションを選択します。

■ ポップアップメニュー

ステップ 2 ウィンドウの Menu Options 部分で、ASTU ポップアップメニューに表示するオプションのチェックボックスがすべてオンになっていることを確認します。オフになっているオプションは、メニューに表示されません。



(注) Preferences オプションはオフにできません。これは常に ASTU ポップアップメニューに表示されます。

ステップ 3 OK をクリックして、変更を保存します。

Enable/Disable Radio

このオプションを使用すると、クライアントアダプタの無線の有効化と無効化を切り替えることができます。無線を無効にすることで、アダプタの RF エネルギーの放出を防ぎます。次のような場合に、クライアントアダプタの無線を無効にしてください。

- データを送信していないときに、バッテリー電源を節約する。
- 飛行機、病院など無線送信が許可されていない場所でラップトップ PC を使用しているときに、アダプタの送信が特定のデバイスの動作に干渉するのを防ぐ。

無線が有効になっていると、アクセスポイント（インフラストラクチャモードの場合）または他のクライアント（アドホックモードの場合）にアソシエートされていなくても、定期的にプローブが送信されます。これは、802.11 規格で要求されている動作です。したがって、RF 妨害を受けやすいデバイスの周囲では、無線を無効にしておくことが重要です。



(注) クライアントアダプタの無線を無効にすると、クライアントアダプタはアソシエートされず、ASTU アイコンの上にカーソルを置くと、無線ネットワークインターフェイスが無効であることを知らせるメッセージが表示されます。



(注) コンピュータがスタンバイモードまたは休止モードになる前、またはコンピュータをリブートする前にクライアントアダプタの無線を無効にした場合は、コンピュータが再開しても無線は無効のままです。無線を有効にして動作を再開させる必要があります。

無線が有効になっているときは、**Disable Radio** を選択して無線を無効にします。

無線が無効になっているときは、**Enable Radio** を選択して無線を有効にします。

Manual Login

このオプションを使用すると、プロファイルで手動プロンプトによる LEAP または EAP-FAST のユーザ名とパスワードを使用するように設定されている場合に、手動で認証プロセスを起動することができます。このオプションを選択すると、Enter Wireless Network Password ウィンドウが表示されます。LEAP クレデンシャルまたは EAP-FAST クレデンシャルを入力し、**OK** をクリックします。LEAP Authentication Status ウィンドウまたは EAP-FAST Authentication Status ウィンドウが表示され、認証プロセスが開始されます。



(注) 手動 LEAP プロファイルまたは EAP-FAST プロファイルの設定の詳細は第 5 章を、認証プロセスの詳細は第 6 章を参照してください。

Reauthenticate

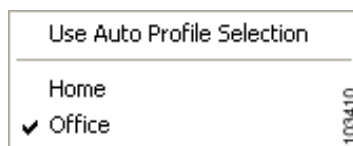
このオプションは、クライアントアダプタに対して、現在のプロファイルのユーザ名とパスワードとを使用して再認証を試みるように要求します。このオプションが使用できるのは、プロファイルですべての EAP が有効になっている場合です。このオプションを選択すると、認証プロセスが開始されます。

指定されたユーザ名とパスワードを使用してクライアントアダプタで認証が行われなかった場合は、再入力するよう求めるメッセージが表示されます。**Cancel** をクリックすると、**Reauthenticate** オプションを選択するか、コンピュータをリブートするか、あるいはクライアントアダプタを取り出して再挿入するまで、現在のプロファイルが無効となることを示すメッセージが表示されます。

Select Profile

クライアントアダプタで有効なプロファイルを選択できます。このオプションを選択すると、プロファイルサブメニューが表示されます (図 8-4 を参照)。

図 8-4 プロファイルサブメニュー



このメニューでは、次のオプションから選択できます。

- **Use Auto Profile Selection** : 自動プロファイル選択の対象となるように ADU で設定されているプロファイルリストから、クライアントアダプタのドライバにより、プロファイルが自動的に選択されます。

クライアントアダプタのアソシエーションが失われている時間が 10 秒間 (LEAP/EAP-FAST が有効な場合は、LEAP/EAP-FAST Settings ウィンドウの LEAP/EAP-FAST 認証タイムアウト値で指定された時間) を超えると、ドライバは、自動プロファイル選択に含まれている別のプロファイルに自動的に切り替えます。アダプタは、アクセスポイントにアソシエートされている間、または 10 秒以内 (または LEAP/EAP-FAST 認証タイムアウト値で指定された時間内) に再アソシエートした場合は、プロファイルを切り替えません。クライアントアダプタを強制的に別のアクセスポイント (インフラストラクチャモードの場合) または他のクライアント (アドホックモードの場合) にアソシエートするには、新しいプロファイルを選択する必要があります。



(注) このオプションが使用できるのは、自動プロファイル選択に複数のプロファイルが含まれている場合だけです。



(注) 自動プロファイル選択を LEAP または EAP-FAST とともに使用する場合は、ログインスクリプトは信頼性に欠けます。コンピュータにログインする前またはそれと同時に認証を実行し、完全なネットワーク接続性を取得する場合には、ログインスクリプトが実行されます。しかし、コンピュータにログインした後に認証を実行し、完全なネットワーク接続性を取得する場合には、ログインスクリプトは実行されません。

- **A specific profile** : 使用可能なプロファイルのリストからプロファイルを選択すると、クライアントアダプタはそのプロファイルに設定されているパラメータを使用して、アクセスポイント（インフラストラクチャモードの場合）または他のクライアント（アドホックモードの場合）との接続を確立しようとします。

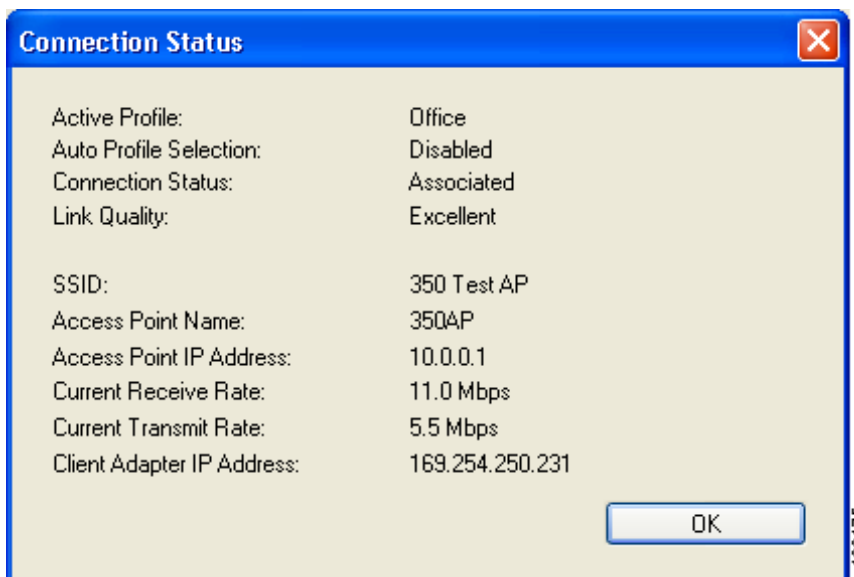
選択されたプロファイルを使用して、アクセスポイント（または他のクライアント）へのアソシエーションに失敗したり、アソシエーションが失われたりした場合でも、クライアントアダプタは別のプロファイルを使用してアソシエートし直そうとはしません。アソシエートさせるには、別のプロファイルを選択するか、Use Auto Profile Selection を選択する必要があります。

目的のプロファイルをクリックして選択します。プロファイルの横にチェックマークが表示され、クライアントアダプタは選択されたプロファイルで接続を設定しようと試みます。

Show Connection Status

このオプションを選択すると、Connections Status ウィンドウが表示されます (図 8-5 を参照)。

図 8-5 Connection Status ウィンドウ



このウィンドウにはクライアントアダプタの現在のステータスに関する情報が示されます。表 8-3 は Connections Status ウィンドウに表示される要素とその説明を示しています。



(注) ASTU アイコンをダブルクリックしても、Connections Status ウィンドウにアクセスできます。

表 8-3 Connections Status ウィンドウの要素










ステータス要素	説明														
Active Profiles	お使いのクライアント アダプタが現在使用しているネットワーク構成 (またはプロファイル)														
Auto Profile Selection	クライアント アダプタが自動プロファイル選択を使用しているかどうかを示します。 値: Enabled または Disabled														
Connection Status	クライアント アダプタの動作モード 値: Not Associated、Associated、Authenticating、Authenticated、Authentication Failed、または Authentication Failed Retrying														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>接続のステータス</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Not Associated</td> <td>クライアント アダプタは、アクセス ポイント (インフラストラクチャ モードの場合) または他のクライアント (アドホック モードの場合) への接続を確立していません。</td> </tr> <tr> <td>Associated</td> <td>クライアント アダプタは、アクセス ポイント (インフラストラクチャ モードの場合) または他のクライアント (アドホック モードの場合) への接続を確立しています。</td> </tr> <tr> <td>Authenticating</td> <td>クライアント アダプタはアクセス ポイントにアソシエートされ、EAP 認証プロセスが開始されましたが、まだ成功していません。</td> </tr> <tr> <td>Authenticated</td> <td>クライアント アダプタはアクセス ポイントにアソシエートされ、ユーザが EAP 認証されています。</td> </tr> <tr> <td>Authentication Failed</td> <td>クライアント アダプタはアクセス ポイントにアソシエートされていますが、ユーザの EAP 認証に失敗しました。  (注) このステータスは表示されてすぐに消えますが、認証の失敗により最終的にクライアント アダプタのアソシエーションが解除された場合は、まったく表示されません。この場合、ステータスは <i>Not Associated</i> と表示されます。</td> </tr> <tr> <td>Authentication Failed Retrying</td> <td>クライアント アダプタはアクセス ポイントにアソシエートされ、ユーザの EAP 認証に失敗しましたが、認証を再試行しています。  (注) このステータスは表示されてすぐに消えますが、認証の失敗により最終的にクライアント アダプタのアソシエーションが解除された場合は、まったく表示されません。この場合、ステータスは <i>Not Associated</i> と表示されます。</td> </tr> </tbody> </table>	接続のステータス	説明	Not Associated	クライアント アダプタは、アクセス ポイント (インフラストラクチャ モードの場合) または他のクライアント (アドホック モードの場合) への接続を確立していません。	Associated	クライアント アダプタは、アクセス ポイント (インフラストラクチャ モードの場合) または他のクライアント (アドホック モードの場合) への接続を確立しています。	Authenticating	クライアント アダプタはアクセス ポイントにアソシエートされ、EAP 認証プロセスが開始されましたが、まだ成功していません。	Authenticated	クライアント アダプタはアクセス ポイントにアソシエートされ、ユーザが EAP 認証されています。	Authentication Failed	クライアント アダプタはアクセス ポイントにアソシエートされていますが、ユーザの EAP 認証に失敗しました。  (注) このステータスは表示されてすぐに消えますが、認証の失敗により最終的にクライアント アダプタのアソシエーションが解除された場合は、まったく表示されません。この場合、ステータスは <i>Not Associated</i> と表示されます。	Authentication Failed Retrying	クライアント アダプタはアクセス ポイントにアソシエートされ、ユーザの EAP 認証に失敗しましたが、認証を再試行しています。  (注) このステータスは表示されてすぐに消えますが、認証の失敗により最終的にクライアント アダプタのアソシエーションが解除された場合は、まったく表示されません。この場合、ステータスは <i>Not Associated</i> と表示されます。
接続のステータス	説明														
Not Associated	クライアント アダプタは、アクセス ポイント (インフラストラクチャ モードの場合) または他のクライアント (アドホック モードの場合) への接続を確立していません。														
Associated	クライアント アダプタは、アクセス ポイント (インフラストラクチャ モードの場合) または他のクライアント (アドホック モードの場合) への接続を確立しています。														
Authenticating	クライアント アダプタはアクセス ポイントにアソシエートされ、EAP 認証プロセスが開始されましたが、まだ成功していません。														
Authenticated	クライアント アダプタはアクセス ポイントにアソシエートされ、ユーザが EAP 認証されています。														
Authentication Failed	クライアント アダプタはアクセス ポイントにアソシエートされていますが、ユーザの EAP 認証に失敗しました。  (注) このステータスは表示されてすぐに消えますが、認証の失敗により最終的にクライアント アダプタのアソシエーションが解除された場合は、まったく表示されません。この場合、ステータスは <i>Not Associated</i> と表示されます。														
Authentication Failed Retrying	クライアント アダプタはアクセス ポイントにアソシエートされ、ユーザの EAP 認証に失敗しましたが、認証を再試行しています。  (注) このステータスは表示されてすぐに消えますが、認証の失敗により最終的にクライアント アダプタのアソシエーションが解除された場合は、まったく表示されません。この場合、ステータスは <i>Not Associated</i> と表示されます。														

表 8-3 Connections Status ウィンドウの要素 (続き)

ステータス要素	説明
Link Quality	すべての受信パケットに対する、クライアント アダプタの信号の強度 値： Excellent、Good、Fair、Poor、または No Link
SSID	クライアント アダプタが現在アソシエートしているネットワークの名前  (注) クライアント アダプタの SSID の設定手順については、表 5-2 の SSID1 パラメータを参照してください。
Access Point Name	クライアント アダプタがアソシエートしているアクセス ポイントの名前。このフィールドが表示されるのは、クライアント アダプタがインフラストラクチャ モードで動作し、アクセス ポイントに名前が設定され、Aironet Extensions が有効になっている場合だけです (アクセス ポイントでは Cisco IOS リリース 12.2(4)JA 以降が実行されていること)。  (注) このフィールドには、アクセス ポイント名が 15 文字まで表示されますが、実際はそれより長い場合があります。
Access Point IP Address	クライアント アダプタがアソシエートしているアクセス ポイントの IP アドレス。このフィールドが表示されるのは、クライアント アダプタがインフラストラクチャ モードで動作し、アクセス ポイントに IP アドレスが設定され、Aironet Extensions が有効になっている場合だけです (アクセス ポイントでは Cisco IOS リリース 12.2(4)JA 以降が実行されていること)。  (注) Aironet Extensions が無効になっている場合、アソシエートされたアクセス ポイントの IP アドレスは 0.0.0.0 と表示されません。
Current Receive Rate	クライアント アダプタがデータ パケットの受信に現在使用している速度 値： 1、2、5.5、6、9、11、12、18、24、36、48、または 54Mbps
Current Transmit Rate	クライアント アダプタがデータ パケットの送信に現在使用している速度 値： 1、2、5.5、6、9、11、12、18、24、36、48、または 54Mbps
Client Adapter IP Address	クライアント アダプタの IP アドレス